

平成26年度タウンミーティング

期 日	平成27年3月18日(水) 14:00~16:00
会 場	大洗町漁村センター 研修室
対 象 者	子育て中・青少年健全育成関係団体、交通・防犯関係団体 (町PTA連絡協議会・学校地域連携推進委員会・町子供会育成連合会・青少年相談員連絡協議会・保育園父母会【認可5園・こすも・あかし・祝幼】・水戸地区交通安全協会大洗支部・水戸地区安全運転管理者協議会大洗支部・防犯連絡員協議会)
町 執 行 部	町長，副町長，理事兼まちづくり推進課長，町長公室長， 教育委員会次長兼学校教育課長，福祉課長
出 席 者	25名

- 町 民：
- ①小学校の子どもたちは自転車に乗ることができない。山場平の道路を通過して登校しなければならない子どもたちに対しては、陸橋をかけるのか、それとも道路を横断させるのか。カーブしているのだから、車が見づらいため、非常に危ない。
 - ②体育館は、小学校と中学校はどのように共有するのか。
 - ③今の中学校のグラウンドは小学校が使うのか。新しくグラウンドができるということだが、雨の場合はどのように使うのか。

教育委員会次長兼学校教育課長：

- ①統合住民協議会を昨年7月に設置した。その部会の中のPTA地域部会（保護者と先生）から通学路に関して要望を出してもらっている。山場平からのカーブのところに歩道橋や点滅信号を設置してほしいなど。これらについては関係各課と協議していきたい。
 - ②体育館の利用について。通常の授業に関しては、統合後の中学校と小学校のクラスでカリキュラムを編成した際、同じ時間に体育館を使う組み合わせはないため、問題はない。ただし、集会や入学式などの行事に関しては、一度準備したものを戻さなくてはならないのか、などの若干の不便をきたすかもしれないが、調整して利用していただく。
 - ③部活に関しては、学童保育の建屋が出来上がり、放課後の中学校の部活で使う。小学校の一階に地域交流の多目的スペースがあり、「放課後子ども教室」ということで使用することを考えている。
- ・工事中はグラウンドに中学校用のテニスコートを仮設で設け、グラウンド整備は今年11月までの工期で、スムーズに行くとそこまですぐにかからない予定。グラウンドに行くには、通路を利用して移

動していただく。

- 町 民： ①保護者の自動車の駐車場の対応は？今までの駐車場では間に合わない。
- ②小学生と中学生との年齢差が9歳もあり，昨今の社会事情も鑑みて，いじめ問題は生じないのか。どう考えているのか。

教育委員会次長兼学校教育課長：

- ①駐車場に関しては，道路の反対側を町で取得しており，駐車スペースとすることになっている。現在の駐車場と合わせて使用する。
- ②いじめについては，逆に，幅広い年齢層での交流をすることで，小学校から中学校へ進学する際の不登校になってしまう「中一ギャップ」なども防ぐことができるのではないかと考えていきたい。

- 町 民： ・粗大ゴミについて。新町6区の1（墓地付近）へ粗大ゴミの放置が多い。広い畑が広がっている中で，藪のようになってしまった耕作放棄地があり，そこへテレビや洗濯機などを捨てていく人がいる。以前の町政懇談会でも斎場裏の粗大ゴミの問題をお願いしたら，町が看板を立ててくれたので，ゴミが減った。
- ・鉄塔へ行くのに，藪になっているが，建築の廃材などを捨てていく。町として考えてくれないか。

- 町 長： ・現場をよく見させていただいて，適切に対応する。かなり前の話だが，民有地と町有地の境の松林にゴミが体積したことがあり，適切に対応した経緯がある。今回も適切に対応する。

- 町 民： ①ガルパンの賑わいにより，商店街の店頭にキャラクターや店主のパネルが立っている。地方創生の交付金や町民のご協力ということで，駅前海岸線の歩道にガルパンのキャラクターなどのモニュメントを作成して，境港のゲゲゲの鬼太郎のように，観光の目玉にならないか。
- ②介護保険の関係で，今年の8月からお年寄りに1000万以上の預金があると，居住費と食料費の負担がかかると書いてあったと思うが，説明願いたい。

理事兼まちづくり推進課長：

① 地方創生に関して、商工観光課の方でも地方創生では多くの施策を考えている。ガルパンを活用した施策も町のイベントには欠かせないものなので、当然地方創生の中でもガルパンを活かした内容は出てくると思う。モニュメントの設置は、町の方々のご協力があればできるだろうが、地方創生の交付金については我々もまだ完全には把握できていないので、地方創生で対応できる部分については対応して、それ以外の部分は町の方々の協力を得ながら、という形になるのかと思う。いずれにせよ、ガルパンは地方創生において観光振興の施策としては重要な要素と考えているため、大いに活用していきたいと思う。

福祉課長：②7月から実施。従来の介護保険のサービスの個人負担は1割だが、資産的に余裕のある層には2割の負担をしていただかないと介護保険制度自体がなりたたない、という国の将来の見込みがあり、今回の一部改正が成された。本人の合計所得金額が年間160万以上で、年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯の場合280万以上、二世帯の場合は346万以上ある方に対しては1割から2割に上げるということ。単純に預貯金だけではなく、証券関係も含めた資産全体ということ。どのように調べるのかという問題については、正しく自己申告していただければカードを渡して2割負担と識別できるが、申告制であるため、本人が言わなければ把握できない。厚労省でも、基本的には個人申告であるとしている。ただ、税申告などで明らかに行政でも把握できるような方については罰則も含めて対応せざるを得ないと理解している。

町長：・ガルパンについては、大勢の皆さんに来ていただいて、大いに賑わっている。先の海楽フェスタでも約5万人の方に来ていただいた。民宿や商店にも効果があったのではないかと。知恵を振り絞ってこのブームが長く続くように心がけることが大事だ。町民の皆さまの知恵で、おいでいただいた皆さまに喜んでいただける環境を作るとは非常に大事だと思っており、そのような取組みを強めていきたい。

・近日、アウトレットモール内に友好都市の物産を集めたアンテナショップを立ち上げる予定で、その中にもガルパン関連を入れる予定である。マリンタワー2階のレストランも「パンツァーフォー」として21日にオープンする。このように、少しでも長く続けられるような取組みをしている。また、全国放映の劇場版も11月に上映されると、大洗の知名度もまた上がるだろう。

それに大洗がどう対応できるかが大事。おいでいただいた皆さんにより喜んでいただけるような環境を続けていく。

- ・駅前海岸線は大洗のシンボルであり，大洗の顔という特色を持った沿道環境にしたい。知恵を出して，ご提言も踏まえながら対応していきたい。

- 町 長：
- ・子育て・教育関係で何かないか。旧亀宗跡に拠点施設を作って一時避難施設として活用する。平常時にどう使うかという問題があるが，親子で楽しめるキッズプラザとして活用したい。幼稚園や保育園に子どもを預けて，勤めている方も多いが，幼稚園が終わった午後から使ってもいいし，0歳から幼稚園に入るまで預けるなど，様々な形で活用していきたい。
 - ・ゆっくら館でも厚生保護の女性会がふれあい広場を展開しているが，常時そのような場になれば。

- 町 民：
- ・統合により，通学路が遠くなる子どもに対してはどうか。初めてのことから，様々な事態を想定して対処してもらいたい。

- 町 長：
- ・通学路に関しては，安全対策を講じて対応していかなければならない。現在，袖ヶ浦陸橋に至る大きな通りを横断しなければならない。信号はあるが，小学生が横断するのは大丈夫かという問題もある。現在，前原から大貫小へ通う子どもたちは仲通りを通っていく。仲通りから隧道を潜って，恵泉保育園の前を通って，国道に歩道橋がかかっているが，その辺りから上げる構造を作るのも一つの策かと考えている。
 - ・山場平の道路に関しては，非常に危険だと思っている。学校側には歩道があるが，大洗友部線に関しては歩道がない。どこで横断させるかは気を使わなければならない。カーブで車が飛ばしてきたら，子どもたちが見えないから危険度が高い。十分検討して事故が起きない環境を作らなければならないと考えている。
 - ・松川などの夏海地区からの子どもたちや，現在大貫小に通っている子どもたちの中でも通学路の距離が遠くなってしまいう子もいる。なっちゃん号を通学時に巡回できるようにするなど，子どもたちの足になり得るように検討していく。
 - ・大洗小の統合の際にも，祝町地区の皆さんの要望で海遊号に乗って登校できるようにしたが，徐々に乗る人数も少なくなっ

歩いて通学している子どもたちも多くなってきたようだ。ただ、悪天候の日は海遊号に乗れるようにしている。降車場所も学校の正門前ではなく、磯道や東光台地区から来る子どもたちと合流できるように、学校の手前で降ろしている。

- ・統合の歩みについては十分安全性をしっかりと踏まえて対応していく。

町 民： ・幼稚園は14時までの保育。今日は実家の両親に来てもらって、子どもを預けて参加している。このような場に参加する時は預ける場所があると助かる。生後6ヶ月から幼稚園に入るまでふれあい広場でお世話になり、私自身もお母さん同士のつながりもできた。ただ、震災で津波がゆっくら館まで来たので、ゆっくら館では不安だと母親同士でも話していた。亀宗の跡地にキッズプラザができるのは安心。

閉 会 16：00